

- 1) 評価対象課題
中期運営方針に基づき、令和3年度に実施した、7つの大課題、23の小課題を対象とする。
- 2) 評価方法
必要性、達成状況、事業効果について5段階の評価を行う。評価委員会の各委員の評点を合算の上、平均値を求める。
- 3) 評価結果の活用
農業研究開発センター所長は、評価結果を研究活動等に適切に反映させ、9未満の場合は、委員の提言に従って修正または見直しを行い、研究企画委員会へ報告する。

評価委員名簿

評価委員氏名	
上田 味哥子	奈良県指導農業士会前会長
江口 充	近畿大学 副学長兼農学部長
鶴木 千里	前奈良県消費生活審議会委員
前田 伸一	奈良県指導農業士会会長
乾 新弥	奈良県食と農の振興部長

大課題	中課題	小課題	評価区分			合計
			必要性 平均	達成状況 平均	事業効果 平均	
評価委員の意見						
薬用作物の安定供給	地域ブランド力を高める薬用作物生産技術の開発	抽苔しにくい優良品種の育成	4.0	3.3	4.0	11.3
		<ul style="list-style-type: none"> ・時間のかかる事業ではあるが着実に進んでいる。 ・水に浸漬することによる発芽率の向上など有意義なデータを得られている。一方で抽苔しにくい系統の選抜効果があまり見られないようにも思える。もう少しばら選抜を繰り返し、効果を期待したい。 ・非常に時間がかかりご苦労の多い研究ではあるが、生産現場に優良品種を届けて、産地拡大を願いたい。 				
		実需者の求める高品質な薬用作物生産技術の開発	4.0	3.1	4.0	11.1
		<ul style="list-style-type: none"> ・どのような土壌が向いているかを知ることは生産現場においては重要である。 ・マニュアルが完成しそうで良かった。やればやるほど問題点が出てくるものと思われるが、マニュアルに追記して行けばよい。ヤマトウキの生産者の育成に役立ちそう。 				
	単味製剤原料向けトウキの省力栽培技術の開発	4.3	3.0	4.0	11.3	
	<ul style="list-style-type: none"> ・省力栽培技術の向上や作業効率を高める事は生産者にとっては重要である。その事により栽培面積を増やせるメリットは大きい。 ・単味エキス製剤用のトウキ栽培では省力化を可能とする栽培技術を詳細に作り上げており、この課題もマニュアル化が期待される。 					
宇陀地域に適した薬草栽培技術の開発	宇陀地域に適した薬草栽培技術の開発	4.0	3.5	4.0	11.5	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に適した作物を見つけるのはとても大切である。 ・ヒロハセネガとボウフウに品目が絞られてきたのかと思う。問題点も絞られ、一部解決に向かって見えるように見える。研究内容が具体的になってきている点は良い。 ・中国産より成分の含量が多いのは販売面で有利に働き、宇陀地域の栽培面積の拡大に期待したい。 					

大課題	中課題	小課題	評価区分			合計
			必要性 平均	達成状況 平均	事業効果 平均	
評価委員の意見						
優良品種 の育成	奈良オリジナルの 優良品種の育成	取引に有利なケーキ店用、高級果実店用品種の育成	5.0	4.3	4.3	13.6
		<ul style="list-style-type: none"> ・アスカルビー、古都華を含め奈良のブランドとして発信できるのはとても良い。それぞれの品種の特性を見極め、より一層の情報発信をしていただきたい。 ・奈良県は優良なイチゴ品種を確実に出せる県であり、優秀な育種家の存在を感じさせる良い仕事だと思う。 ・奈良県産イチゴの品質の高さ、各品種の味の良さをより多くの人に届けてください。 				
		需要期に安定して開花する小ギクや特色ある奈良ブランド菊の新品種の育成	5.0	3.8	4.3	13.1
		<ul style="list-style-type: none"> ・盆出荷や端境期の出荷は収益につながり、経営が安定していれば、後継者も育ちやすいので期待する。 ・問題点も絞られており、それぞれの目標に向かって着実に選抜が進んでいる。 				
		奈良オンリーワン酒米品種の育成	4.5	4.3	4.0	12.8
		<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県の平坦地で作れる品種ができたのは量産につながるのにより一層の収量を確保し、清酒を造ってほしい。おいしい清酒は輸出もでき、期待が大きい。 ・奈良県の酒蔵とうまく連携して作付面積の拡大を図り、耕作放棄地の解消にもつなげて欲しい。 				
	新たな高品質甘柿品種の育成	5.0	3.5	4.0	12.5	
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい品種が出来るのは待たれるところである。継続してほしい。 ・収穫時期にターゲットを絞り、奈良県オリジナル品種を作るということで、非常に分かり易く役に立つ研究になっている。時間のかかる大変な仕事だが、高接ぎなどの園芸技術を最大限に利用しているため、品種開発が加速することが期待される。 						
優良品種 の育成	遺伝資源の 保存と活用	奈良に歴史的ゆかりのある遺伝資源の保存と活用	4.0	3.3	3.5	10.8
		<ul style="list-style-type: none"> ・今では無くてもいつかのために備えておく必要はある。 ・縁の下の力持ちのような仕事で、成果に華やかさがなく評価され難い研究だが、重要。一旦保存を始めると未来永劫保存することが求められる。どこかの時点で継続可能な範囲（労力、資金、保存スペース等）を明確にした基準作りが必要だとは思う。 ・地味ではあるが、非常に重要な仕事である。この業務を将来にわたって続けられる様、「活用」についても努力願いたい。 				

大課題	中課題	小課題	評価区分			合計
			必要性 平均	達成状況 平均	事業効果 平均	
評価委員の意見						
加工商品の開発と加工技術の研究	奈良の特産品を用いたオリジナル加工品の開発	渋柿を原料とする糖蜜漬けの製造技術の開発	4.5	3.8	3.8	12.1
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 格外果実も商品として利用できれば、農家の収益アップにつながる。製菓業の方のアイデアにより、より一層の新しい商品が出来れば、利用も増える。 ・ 問題点が整理され、商品開発の出口が近づいている。 ・ アルミパウチを使うと内容物が見えなくなるので、もう一步パッケージングが必要に思う。食感が西洋ナシのようで、とてもおいしかった。 				
		柿葉を利用した後発酵茶の開発	4.3	3.8	3.8	11.9
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 味に特徴があるので、その点を売り込めば良いのではないかと。 ・ 奈良県独自のストーリー性を加味して行けば、面白い商品になる。機能性があるのは良いことなので、他の食品との比較がポイントになるように思う。 ・ 桜の木から乳酸菌、プラス柿の葉のお茶、そして、機能性、健康に結びつき、本当にすばらしい。 				
	加工適性を高める栽培技術の開発	素麺やパンに適した新たな小麦品種の選抜	4.0	4.0	4.0	12.0
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 奈良県産の小麦で麺類やパンに適するものが出来れば、安定して利用できるし、安心安全の点においても有意義だと思う。 ・ 「はるみずき」が奨励品種になったということで、製パンや素麺に非常に良さそうな品種であり、後は栽培時期や施肥条件などの栽培マニュアルの完成かと思う。上手く軌道に乗った試験研究だと思う。 				
		ワインに適したブドウ品種の果実品質研究	4.0	3.3	3.3	10.6
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域にあったブドウ品種が確定されつつあると見受けられる。栽培技術の向上により、量が確保できればと思う。おいしいワインができあがる事を願う。 ・ 病気の問題をどうするかは工夫が必要だと思う。 ・ 奈良県初のワイナリーという目標に向けて超えなければならない問題はありますが、目標達成に努力して下さい。 						

大課題	中課題	小課題	評価区分			合計
			必要性 平均	達成状況 平均	事業効果 平均	
評価委員の意見						
高品質に繋がる生産技術の開発	機能性を向上させる生産技術の開発	大和野菜の機能性を向上させる生産技術の開発	4.3	4.0	3.8	12.1
		<ul style="list-style-type: none"> ・奈良の伝統野菜や大和のこだわり野菜等の幅広い品種についても、機能性成分のわかりやすい表示をして欲しい。 ・機能性向上を利用したブランド化という視点は大事。機能性成分含量の数値目標を設定したうえで、奈良の気象条件に合った再現性の高い栽培条件に絞って試験研究をしても良いのではないかな。 ・生産者に、品種間及び作型での間差がある事やこの時期にはこの品種などの情報を早く知らせてほしい。 				
	輸出向け生産技術の開発	輸出需要向け茶生産技術の開発	4.5	3.3	3.5	11.3
		<ul style="list-style-type: none"> ・今回の技術開発により農薬をどれだけ減らすことができるのか、という点について、数値データがあればより良い。 ・国内消費が落ち込む中、輸出に新しい消費拡大を求め、作付面積の拡大を図ってほしい。 				
安定生産技術の開発	環境変動に対応した安定生産技術の開発	吸湿剤を使って低コストに施設内の温湿度を調整するシステムの開発	4.3	3.3	3.5	11.1
		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の地球環境の保全の面からも、とても意義がある。 ・県内重油消費量の10%削減、二酸化炭素排出量の2000トン/年削減は非常にインパクトのある数値だと思う。それだけに、それを裏付けるハウス内の具体的な温湿度の経時変化を示すデータなど、具体的なデータ（数値）を常に示すようにしてください。 ・油代が高い中、経営の足を引っ張っているなので、できるだけ早く現場に投入してください。 				
		計画出荷に不可欠なキクの開花予測技術の開発	4.8	3.3	4.3	12.4
		<ul style="list-style-type: none"> ・圃場ごとに開花日がわかれば出荷計画が立てやすくなる。生産者がタブレットやスマートフォンなどで手軽に使えるようになれば、利用者は増える。 ・年々精度が良くなっている。市場と連携して有力情報を共有し、計画出荷による有利販売に繋げてほしい。 				
		遺伝子診断技術によるキク、トマトなどの重要病害診断技術の開発	5.0	3.8	4.0	12.8
<ul style="list-style-type: none"> ・生産現場では、農薬の利用で何を使うか迷う事もある。研究結果を示してもらえれば、病害の予防や減農薬につながりたいへん助かる。 ・被害が拡大する前に農家に適切な薬剤を必要最小限で散布するように指導するために重要な試験研究だと思う。PCRマーカーも出来てきているので方向性は定まってきている。 						

大課題	中課題	小課題	評価区分			合計
			必要性 平均	達成状況 平均	事業効果 平均	
評価委員の意見						
省力化技術の開発	生産者に優しい生産技術の開発	脚立を使わないカキの低木栽培技術の開発	4.5	3.3	3.5	11.3
		<ul style="list-style-type: none"> ・年数のかかる研究であるが、生産者にとってはずっと上を向いての作業が多い中で、長く働き続けられる技術だと思う。安全に作業できるのはとても重要である。 ・農業者も高齢化している中、低木技術をより早く現場投入し、生産の向上に繋げてほしい。 				
		女性に優しい農業機械の開発	4.5	3.3	3.3	11.1
		<ul style="list-style-type: none"> ・音も静かであれば住宅地に近い圃場での作業がしやすくなる。傾斜地に強い作業車であればより幅広い使い方が出来る。 ・適正価格で農業従事者の方々に広まると良い。 				
環境保全型農業技術の開発	環境に優しい生産技術の開発	天敵を利用した防除体系の安定化	5.0	4.0	4.5	13.5
		<ul style="list-style-type: none"> ・問題点が整理出来てきている。天敵を利用した総合防除はいわば生態系コントロールであり、とても難しい技術。害虫を特定し、天敵を入れ、それなりに良い成果を出している。まだ、防除できていない昆虫をどのように防除するのが今後のポイントになる。期待したい研究。 ・安全安心のアピールにもなり、消費拡大につなげてほしい。農家にとって農薬散布はとても重労働なので、省力化にもつながりすばらしい。 				
	有機農業に活用できる技術の開発	有機野菜の総合的害虫管理技術の確立	5.0	3.3	4.0	12.3
<ul style="list-style-type: none"> ・近年、キスジノミハムシの被害がかなり見られる。有機農業の技術を一般の生産現場でも使えるように広げて欲しい（露地栽培など）。 ・ターゲットを絞った良い研究が展開されている。なお、良い効果を提示するときには、必ず何故そのような良い効果が生まれるのか、その科学的根拠（メカニズム）を明確に示すと、説得力が出る。 ・UVカットフィルムのデメリット（菌の抑制）、肥培管理なども研究してほしい。 						
環境保全型農業技術の開発	土壌改良に活用できる技術の開発	水田転換圃場の土壌改良技術の研究	5.0	3.3	3.3	11.6
		<ul style="list-style-type: none"> ・水はけが悪く、水田としてしか利用しにくい田が結構多くある。排水対策が出来れば、野菜などの収益の上がる作物を作っていけるので、技術開発は有益だと思う。 ・土壌改良技術開発の中で排水という問題にターゲットを絞ったことで、研究の進展が見られるようになった。まだ細かな問題は多数出てくると思うが、大きな問題を解決してから一つずつ解決して行くと良い。 ・ハウス内明渠も効果大であると思う。 				